

武漢事務所便り週間新聞記事報告 2010.11.13-2010.11.19 27号

2010年11月13日付け「大楚ネット」により

阮成癸市長が野菜市場で野菜価格を調査

昨日、武漢市長阮成癸氏一行は漢口の野菜市場とスーパーにて、野菜、穀物及び食用油の価格調査を行った。

漢口の恵濟路市場と唐蔡路市場、中百スーパー唐家墩店では、「最近、米と食用油の価格が大幅に値上がりし、野菜の価格も上昇している。」と市民からの声が多かった。

物価部門の報告によると、全国の多くの都市と同じように、最近武漢市でも数多くの農産物の価格が持続的に上昇している。10月、食品類の価格は6.4%値上がりした。今回の値上がりの主な原因はコストの上昇と国際市場による価格の変動及び異常気象などの影響である。



阮市長はスーパーで野菜価額を調査

2010年11月15日付け「長江ネット」により

中国、ロシア、インド3カ国外相が武漢にて会談

湖北省が影響力の拡大

今日、中国外務大臣の楊潔篪氏の招聘により、ロシア外務大臣セルゲイ・ラブロフ氏、インド外務大臣クリシュナ氏が武漢にて第10回中国・ロシア・インド外相会談に参加する。これは、武漢市が主催する久々の国家レベル重要会談である。

会談期間中、3カ国の外務大臣は3カ国の実質的な交流や協力を促進するため、国際協力と地域問題に関する意見交換を行った。中国・インドの外務大臣と中国・ロシアの外務大臣はそれぞれ二国間協議を行った。

2007年10月24日、第7回中国・ロシア・インド外相会談が初めて中国ハルビン市で開催された。このたび、湖北省の積極的な努力により、武漢市は中国で2番目に中国・ロシア・インド外相官会談を主催する都市となった。外交部の責任者は湖北省の対外宣伝効果と影響力の拡大をサポートする環境を作り、湖北省とロシア・インドの交流及び協力を促進すると強く表明した。

そのため、外交部は今回100名近くの記者を特別に招聘し、湖北省の経済と社会発展の成果、特に文化産業の発展、経済構造の転換をアピールするために、会談の一日前に武漢に到着してもらった。